

■中国：2010年1月～3月の電力需給状況

中国電気事業聯合会は2010年4月14日、1月～3月の電力需給状況を発表した。1月から3月までの全国消費電力量は前年同期比24.19%増の9,695.13億kWhであった。その内、第一次産業用は同9.77%増の190.48億kWh、第二次産業用は同27.57%増の7,146.70億kWh、第三次産業用は同17.47%増の1,079.53億kWh、家庭用は同14.96%増の1,278.42億kWhであった。また、3月の消費電力量は前年比21.04%増の3,434億kWhであった。1月～3月まで、発電設備の稼働時間は前年同期間より117時間増加し、平均1,125時間。その内、水力発電設備は93時間減の499時間、火力発電設備は182時間増の1,285時間となった。発電用石炭消費率は332g/kWhで前年同期間より6g/kWh減少した。電源投資額は479.98億円で、内訳は水力110.85億元、火力193.61億元、原子力107.50億元、風力65.16億元であった。新規運開した発電設備容量は1,612.68万kWで、内訳は水力131.21万kW、火力1,269.53万kW、風力209.33万kW。流通設備の投資額は434.47億円で、新たに220kV以上変電設備3,120万kVA、送電線3,124キロメートルを建設した。